
好きな気持ち

星塚夜光

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】
好きな気持ち

【Nコード】
N7333J

【作者名】
星塚夜光

【あらすじ】
家庭教師ヒットマンREBORN!のBL小説。

雲の守護者雲雀恭哉と大空の守護者沢田綱吉の

BLストーリー

(前書き)

ハジメマシテの方はとても多いと思います、星塚です。

こついつのが苦手じゃない方がいたらとてもうれしいんですが…

ぜひ、ごらんください!!

君への思いが トマラナイ
早く 僕だけのものにしたい
その笑顔を 僕だけのものに
その愛らしい君を 僕だけのものに
そんな思いが 募って…募って…

オチテイク……………

「やあ、沢田綱吉」

僕はそういつて可憐な君を応接室へ招き入れた

「雲雀さん！あんまり目立った風に誘われたら、ほかの人に俺と雲雀さんがこういう関係だって知られちゃうじゃないですかっ！」

沢田綱吉…ボンゴレファミリーの十代目ボスが僕の方を頬を膨らませて見つめていた

「困るの？ばれたら」

僕の言葉を聞いて、彼は言葉を失った

「…………… 本当だ、別に困りませんね」

そういつて彼は楽しそうにクスクスと笑った
こういう時間が好きだ
君が隣にいて、一緒に笑っている
こんなときが……

ある日の放課後、僕は沢田綱吉を迎えに、彼の教室へ足を運んでいた
教室に入ろうとしたとき、誰かの声が聞こえた

「十代目、俺を捨てたりしませんよね？」

獄寺隼人の声がした

獄寺はボンゴレファミリー嵐の守護者。
自称沢田綱吉の右腕だ。

「捨てるわけないだろ？隼人、お前が一番大事だよ」

彼はいつもの声ではなかった
甘くぬれた声で獄寺にささやいている

「俺…感激です、十代目」

「好きだよ…隼人」

この言葉は…僕に向けてのものじゃない

僕は一度も名前で呼ばれたことなんてない

イヤだ、そんな声で

他の男をよやっばないで

苦しくて 切なくて

つらくて 悲しくて

どんどん涙があふれてくる…。

ああ、僕はこんなに、君の事が好きだったんだ…

その次の日の昼、僕はやはり前と同じように沢田を応接室へいざなう

飯でもいい、本当は違ってもかまわない

ただ僕のそばにいて欲しい

僕を嫌いにならないで

僕を捨てないで

どうか、僕のものでいて

お・わ・り

（後書き）

どうしよう！……！！

自分で書いてて何が書きたいのかわかんなくなってきた（混乱）

すみませんでした…

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7333j/>

好きな気持ち

2010年10月10日03時38分発行